

越谷も

YES, WE CAN.
『やればできる』

発行日: 2011年5月31日

発行者: チーム白川

No.9号

事務所: 越谷市大里 226-1
TEL/FAX 048-970-8005

『トライ&チャレンジ』 Try & Challenge



越谷の YES, WE CAN. Part VIII

今回の統一地方選挙は11名の新人議員を市議会に登場させました。32名中26名の議員が3期以内という新旧交代期中の選挙であったと思います。7名の現職議員が引退・転籍し、内現職3名が落選（共産2、民主1）し、新人に道を譲りました。

今回の選挙は、東日本大震災の復興ままたらない中でのものであり、投票率低下は予想されていましたが、40%を切る低投票率は選挙に関わった一人として、残念でなりません。今回は選択肢が薄いという印象は持っておりませんが、選挙公報には財政面の課題を提起している候補者は少数でした。人口減少、高齢化、少子化が今後の越谷をどうしていくことになるのかなど、「いま越谷がどうなっており、どうなりうるか」という現状認識がまだまだ共有化されていない現状が展開されています。

600以上ある事業全てを予算化して、本当に越谷は破綻しないのでしょうか。2,000億円弱ある債務（借金）や市立病院の財政健全化の方が、優先順位は高くありませんか？相変わらず、現職議員は「いいことづくめ」の政権公約を謳ってありますが、ご自身が約束を守れたか、守れなかったかの検証もせず、「安心・安全のまちづくり」もないものでしょう。この越谷をどのような町にするのですか、そのための財源の見通しはいつているのですか。議会改革は一人じゃできませんよ！

32名が課題の一点で超党派を組む努力を期待しています。新人議員の心意気を見せてほしいと願っています。（西川）

グラウンドゴルフ

【シリーズチーム紹介】沼田グラウンド・ゴルフクラブ

平成13年創立、今年で10年目の中堅クラブ。人数は15名、代表は谷口光生氏。年2回5月と9月に春季・秋季大会を大房ふれあい公園で開催。練習日は木・金、梅林公園にて。

クラブのモットーである「楽しむ会」の通り、アットホームで、手作りの様々な工夫が随所で感じられる。がんばろう大会には早い時期から参加され、毎回本部設営等にご尽力をいただいている。

(三輪)



■ 第91回タウンミーティング -3/19

➤ 3月議会報告

— 白川秀嗣議員 —

東日本大震災の後でもあり又4月の統一地方選挙間近の開催日程だったため、予算の審議過程や税金がどのように使われているのかに討議が集中した。3月議会報告を白川議員、3月6日・「白川ひでつぐと語る市民の集い」開催報告を事務局三輪、「トライ&チャレンジ」号外第2号要旨説明を事務局岡田が行った。(三輪)



◆ 第92回(5/28)は次号に掲載します。

**第93回タウンミーティングは
6/25頃に
開催の予定です**

「チーム白川」の会員を募集しています。問い合わせ先：事務局 岡村090-3342-3064

☑ 広報として選挙に参加して (岡田英夫)

選挙の目的は候補者を当選させる事だと思っている方が多いと感じました。それは今まで、市長や議員だけに市政を任せてきた体質から抜け出せていないからです。このたびの選挙は市民参加を実現する為であり、お任せ体質からの脱却が重要でした。

その為、経過をいかに大事にするかをこのたびの選挙で強調し行動しました。その結果、広報として、ポスター貼り、インターネット、街宣活動を通じて多くの方々と良いコミュニケーションがとれて、共ががんばることが出来ました。

この人間関係を大事にしていきたいと思えます。皆様ご無理をお願いしたかと思いますが、これこそが市民参加です。

体感しただけの皆様と共に、今後も一緒に越谷市政のあり方を変えて行ければと思います。

▽政経セミナー統一街頭演説



☑ 一番身近な選挙「市議会議員選挙」を終えて

(男性会社員 Y. K.)

私は結婚を機に越谷市内に住んでから15年になります。今回初めて選挙ボランティアを務めました。項目別の感想は次の通りです。

【ポスター貼り】3人が1チームとなり約25箇所の掲示板に手分けして貼る。この作業が最も「チーム白川らしい、チームプレーの瞬間を実感する事が出来ました。

【夜駅立ち】地元駅での選挙応援で力が入りましたが、知り合いの何人からも声を掛けられ励まされました。選挙応援で一番充実感を味わえると感じながら声を掛け続けました。

【地元練り歩き】古くからの政治手法「ドブ板選挙」が、この地元での練り歩きだと確認しました。地元票を確実にしたこと、上位当選を実現したのでしょうか。選挙戦を終え、私にとって初体験のとても有意義な1週間でした。

☑ “やる時はやる！” グルメ隊 (S. K.)

私達は、自分たちの町越谷が住み良くなるために何が出来るか、皆で考え話し合い、チーム白川のグルメ隊としてボランティアで参加しました。主婦層30年以上のお母さん達10名、ピンクのボンダナにエプロン姿、腕の見せ所とばかり狭い台所で喧嘩譁々、意見を交わしメニューを考え、ワァーワァー楽しく、白川候補も勿論、選対の皆さんが1週間乗り切れますようバランスの良い食事を心がけ、親心丸出しで頑張りました。

短い期間ではありましたが、皆それぞれの都合をフォローし合いながらチームワーク良く活動できたことは、これからの生活に勇気を頂いた思いです。皆で力を合わせ、助け合うことの大切さを改めて痛感しました。ありがとうございます。そして何より白川市議当選おめでとうございます。これからの活躍を期待しております。

統一地方選に参加して

☑ 街頭宣伝に取り組んで (名倉 瞳)

ウグイス隊としてボランティアをさせて頂きました。選挙期間中はアルバイトを長期休暇させて頂きましたため、貯金がない学生の身では電車代捻出が苦しい一週間でした。

統一ローカルマニフェストを期間中堂々と市民にお伝え出来るウグイス隊としては、白川さんのみならず超党派の印象ささ左右しかねない責任感、また名前の連呼をしないという街宣車の新しいスタイルに戸惑いがありました。

開票結果は3478票でしたが、この結果こういすの活動が選挙影響を及ぼしてはいないかと投票して下さった方々の声を聞くことが出来ないため、もっと他にやりようがあったのではないかと心残りがあります。

以降お選挙権を持つ身として、政経セミナー等に参加し責任と知識のある社会参加をしていきたいと考えています。

☑ ポスター貼りに取り組んで (千間台 佐治隆彦)

初めての草の根選挙活動のお手伝いとなったポスター貼り。パートナーはチーム白川リーダーのM. I. さん。このリーダー、準備が早いと言うか年季が入っていると言うか、前日迄にルート確認をされていたらしく、動く・降りる・貼る・乗る、を繰り返しているだけで概ね1時間後には持ち場を席巻、足りなかった画紙の打ち増しを済ませても、帰還一番乗り。まだ11時半。作業中の他チームに心中手を合わせながら美味しい握り飯とカツを頂くことに。

ところが事はそう上手く終わらない。画紙不足や、背のりの貼りが十分でない掲示板があるとかで、今度は岡田さんの助手席で区域の1/3を追加巡回。こっちの方が大変。宮本小の前では、立哨中の警官の胡散臭げな監視を受けながら、片手で掲示板にぶら下がって画紙を打つ始末。4年後には忘れず、脚立を持参しましょう。

▽地元練り歩きの様子



編集後記

◆様々な思いを持って、多くの人が関わった選挙でした。選挙活動を通じて、市民参加が上手く機能すれば、社会が発展することを実感することが出来ました。しかし、一方で投票率が40%に満たない現実があります。それぞれの立場で参加するための工夫を続けたいと思います。(岡村)

<http://shirakawa.mie1.net/>